

近代日本史の人物に 触れてみよう

ホームガス課
宮本 剛佳

前は、江戸時代の人物について書かせていただきました。今回は、近代（明治時代になってから）の人物についてご紹介したいと思います。皆さんは、この頃の人物としてどのような人物を思いでしますか？



私は、まずは、渋沢栄一を取り上げていきたいと思います。

渋沢栄一は、1840年に武蔵野国榛沢郡血洗島村（今の埼玉県深谷市血洗島）生まれ、父は市郎右衛門、母はエイと言ひ、家は、藍染めの原料となる藍玉を製造・販売する豪農だったそうです。

日本資本主義の父とも言われ、いろんな会社の設立にたずさわりました。その数はなんと500社を超えるそうです。例えば、第一国立銀行、王子製紙、キリンビール、東京ガスなど、今でも日本有数の企業です。

そんな渋沢栄一ですが若き日には天朝組を結成して討幕運動に参加し地元の高崎城を襲った事もあるそうですが天朝組は解散、その後、京都で知り合った一橋慶喜（のちの徳川慶喜）の臣下となります。

徳川慶喜も渋沢栄一も身分にとらわれず新しいものは積極的に取り入れる考えで気が合い渋沢は、幕府の遣欧使節団入りヨーロッパに渡り、最新の西洋ビジネスの知識を吸収していきます。帰国後は渡欧経験を生かして数々の起業をしていき大成功をおさめます。

また、2024年に発行される新お札にも渋沢栄一が使われます。



次に取り上げる人物は、岩崎弥太郎です。

岩崎弥太郎は、1834年12月11日に土佐国安芸郡井ノ口村一ノ宮（現在の高知県安芸市）で生まれました。土佐藩の下級武士の長男として生まれ、本名は、岩崎敏と言ひます。

岩崎弥太郎と言えば三菱財閥を一代で築き上げた人物で元は幕末に藩が運営する開成館のもとで海運業にたずさわり明治維新後に九十九商会を作り、のちに三菱商会と名前を改めます。先に取り上げた渋沢と商売の上で何度か対立があったようです。

岩崎弥太郎は武器の買い付けや土佐の産品の売買などを通じて商才を磨き、坂本龍馬が設立した海援隊の経理も担当していたそうです。

三菱のマークは土佐藩主 山内家の家紋を基にしているそうです。あと、三菱が作ったものの一例に零戦や戦艦武蔵といった物があります。ちなみに三菱鉛筆は、無関係の会社だそうです。

この他にも、この時代には伊藤博文（初代内閣総理大臣）や自由民権運動に力を入れた板垣退助、「坊ちゃん」で有名な夏目漱石などが活躍しています。

時間のある時に、過去の人物について考えていただければと思います。

新入社員紹介 外販課 山本 直史

はじめまして。この度10月1日より外販課に配属になった山本直史と申します。

私は、以前ヤマト運輸で配達の仕事をしており、1日の運動量が非常に多い仕事でした。その仕事を辞め、こちらへの再就職をして今に至るまでの間に、10キロも体重が増加してしまいました。

なまった体を鍛えるために、ジムに通いはじめ、今では趣味の一つです。

前職で伊賀名張を高域に配達してた事もあり、地理もほぼわかります。また、安全運転にも努めてたので、今後も活かして無事故無違反を継続していきます。

これまでの経験を活かして一日でも早く仕事を覚えられるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



ただ今、断捨離中!!

総務課 皆見 和美

何年か前に流行語となった断捨離ですが、思い切りが悪い私は「もったいない…」「サイズが変わった服もまたいつか着られるかも…」「この食器は誰かが来た時に…」等々、なかなか捨てることが出来ないでいました。

でも結局、「使おうと思った時には、どこに入れてあったのかわからない」「いつまでたっても痩せることは無い!」「誰か来ても使いやすい普段の食器やカップを使う」と、結局そのままに。これではいけないと、思い切って断捨離を実行中です。

断捨離とは、自分と向き合って、暮らしの中で本当に必要な物だけを選ぶ作業です。ただ「物を捨てる」「服を捨てる」という意味ではありません。名前の由来はヨガの断行・捨行・離行から生まれた言葉です。

「もったいない」という固定概念から解放され、身軽で快適な生活を得ることが目的で、執着から離れ、取捨選択を行い、本当に必要な物だけにすることを言ひます。

断…本当に必要な物以外を買わず、いらない物を断つこと。

捨…家にある自分の物でいらない物を捨てること。

離…これはいつか使いそう、何かに使えるかも、という執着から離れること。

断捨離を行うコツは、とにかく広げて確認すること。眺めて取捨選択しようとしてもうまくいきません。まずはいったん全部出して、「必要」「不要」「保留」に分けることが重要です。

断捨離の効果・メリット

① 気持ちがスッキリしストレスがなくなる

② 節約になる

無駄な買い物をやめ、本当に必要な物、欲しい物だけを購入するようになるため結果的に節約につながります。

③ 片付けが楽になる

④ 掃除が楽になる

⑤ 時間が増える

物を探したり選んだりする時間が減り時間に余裕ができる。

⑥ 物事取捨選択がうまくなる

自分にとって必要な物とそうでない物を判断する力がついてきます。

⑦ 自分が本当に大事にしたいことが見えてくる

⑧ 精神的にゆとりができる

断捨離の仕方

① 自分の持ち物を「必要」「不要」「保留」の3つに分けましょう。

「必要」か「不要」かを迷ったときには、過去1年間使用していない物は「不要」、この先1年間使用しそうでない物は「不要」、といった基準を持っておくとスムーズです。

それでも迷った物だけ「保留」に分類します。

② 「不要」な物を捨てる・譲る・売る。

分類が済んだら捨てる物を処分します。

③ 「必要」な物を収納する。

必要と判断した物を定位置を決めて収納する。

④ 「保留」にした物をもう一度見直す。

しばらくたってからもう一度見直して「必要」「不要」に分ける。

断捨離は時間とエネルギーを要しますが、メリットもたくさんあると思うので、自分のペースで断捨離をしたいと思います。今まで「とりあえず、置いておこう」という事が多かった分、相当な時間がかかるかも…。

断捨離後もその状態をキープできるようにすることも大事ですね。



参考 <https://manekineko358.com/tiding-up-basic-ideas>
https://www.style-eco.com/brand_colum/takuha/9377971.html